Press Release
愛知県豊川市

ともにかなえるなら とよかわ

令和８年５月２７日

豊川市政記者クラブ加盟社　各位





東三河ヤクルト販売㈱と豊川市消防署が協力して熱中症予防啓発を実施します！！

豊川市消防署は、東三河ヤクルト販売株式会社と協力し、熱中症の救急搬送者数が増加傾向にある６月から熱中症予防啓発を実施します。個別販売により市民と接することの多いヤクルト販売員に、熱中症予防のポイントが書かれたリーフレットの配布や声掛けを実施していただきます。



※写真データは秘書課広報広聴係にあります。

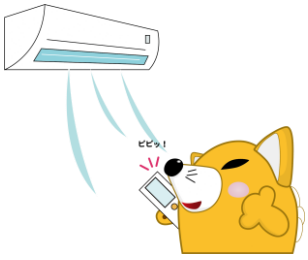
【お問合せ先】
担　当　豊川市消防署本署救急担当（及部・竹内宏）
電　話　０５３３－８９－９７５１（直通）
ＦＡＸ　０５３３－８９－１４１４
E-mail　shobosho@city.toyokawa.lg.jp

熱中症予防のために

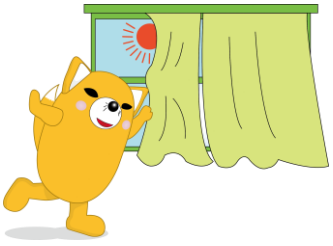


暑さを避ける！

- 扇風機やエアコンで温度をこまめに調整



- 遮光カーテン、すだれ、打ち水を利用



- 外出時には日傘や帽子を着用



- 天気のよい日は日陰の利用、こまめな休憩



- 吸湿性・速乾性のある通気性のよい衣服を着用



- 保冷剤、氷、冷たいタオルなどで、からだを冷やす



『熱中症警戒アラート』発表時には、
外出をなるべく控え、暑さを避けましょう

こまめに水分を補給する！



- 室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じていなくても
こまめに水分・塩分を補給

「熱中症」は、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調節機能がうまく働かなくなり、体内に熱がこもった状態を指します。屋内だけでなく室内で何もしていないときでも発症し、救急搬送されたり、場合によっては死亡することもあります。
熱中症について正しい知識を身につけ、体調の変化に気をつけるとともに、周囲にも気を配り、熱中症による健康被害を防ぎましょう。

豊川市　救命講習

熱中症の症状



応急処置をしても症状が改善されない場合は
医療機関を受診しましょう

熱中症が疑われる人を見かけたら（主な応急処置）

- エアコンが効いている室内や風通しのよい日陰など涼しい場所へ避難



- 衣服をゆるめ、からだを冷やす
（首の周り、脇の下、足の付け根など）



- 水分・塩分、経口補水液※などの補給
※水に食塩とブドウ糖を溶かしたもの



自力で水が飲めない、応答がおかしい時は、
ためらわずに救急車を呼びましょう！



ご注意

暑さの感じ方は、人によって異なります

その日の体調や暑さに対する慣れなどが影響します。
体調の変化に気を付けましょう。

室内でも熱中症予防！

暑さを感じなくても室温や外気温を設定し、扇風機やエアコンを使って温度調整するよう心がけましょう。

高齢者や子供、障害のある方は、特に注意が必要！

熱中症患者のおよそ半数は65歳以上の高齢者です。
高齢者は暑さや水分不足に対する感覚機能が低下しており、
暑さに対するからだの調整機能も低下しているので、注意が必要です。
また、子どもは体温の調節能力がまだ十分に発達していないので
気を配る必要があります。



豊川消防署　救急救助担当
TEL0533-89-0119

©いなりコ ©イナリソ ©いなりん